

各学部の教育課程

各学部とも「個別の包括支援プラン」に基づいて、一人一人の目標に応じた、もっとも適切な「内容（単元，題材）」、「学習グループの編成」及び「学習する場」などを踏まえ、「一人一人の時間割」を作成し、これに基づき学習グループを編成します。この学習グループは、個別・少人数・多人数など、目標や指導内容に応じて柔軟で多様な編成をし学習を行っています。

大きくは以下の4つの学習を行っています。

基礎学習（コンディショニングとベースメントスタディ）

医療的ケアや、情緒不安定に対する身体的・心理的な安定を図る活動や姿勢・運動の基礎的な活動、コミュニケーションの指導など、自立活動の指導に相当する学習である。

個のニーズに合わせて、他の活動と組み合わせて学習したり、発達や機能障害、医療的ケアの視点から関わるティーチングスタッフを設定し指導を行っている。

生活学習

文字や数概念等の基本的なスキルも、生活課題の解決と関連づけて学習する。

生活学習は、ホームルーム活動等である「クラススタディ」と、それ以外の学習集団で活動する「ライフスタディ」に分ける。

「ライフスタディ」には、遊びの指導や生活単元学習に相当する学習活動がある。

また、これらの内容を教科として取り扱うことも可能で、発達に遅れのない児童生徒では、小学校、中学校、高等学校の学習指導要領に基づく教科の内容を取り扱う。

基本生活学習

基本的生活習慣の学習、個別課題学習がある。

着替えや排泄、食事、持ち物の整理、教室の移動等の身辺処理に関する内容について、児童生徒が自立的なスタイルを獲得するための学習活動である。

個別課題学習として、日記をつける、計算ドリルをする、ランニング等のトレーニングをする、花瓶の水を換える、机を拭くなどの習慣的な活動を行う。

基本的生活習慣の学習、個別課題学習のいずれも、基礎学習と同様、学校生活の流れの中で他の学習活動と関連づけて学習する。

働くことの学習

ワークスタディとアセスメントスタディ、プレースメントスタディがある。

ワークスタディは、地域の美化清掃活動や、種目別に生産や販売に取り組む学習等、地域との関係や進路を意識した生活単元学習や作業学習に相当する。体験実習や、専門教科の学習も含まれる。

アセスメントスタディ、プレースメントスタディは、卒業後の実社会での生活全般を対象とした学習活動で、職場実習や福祉実習など進路と結びつきの強い学習を取り扱う。

大学・短大・専門学校の受験準備学習や、簿記、情報処理等の資格取得の学習も含む。

